

An aerial photograph of Kobe, Japan, showing the city's urban landscape, the extensive port area with numerous piers and ships, and the surrounding mountains. The port is a large, deep-water harbor with several large islands and piers. The city is densely packed with buildings, and the mountains in the background are covered in greenery.

新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会 神戸港における取組状況

神戸市港湾局
令和7年1月31日

神戸港における戦略港湾の取組み

取組の方向性

- ▶グローバルサプライチェーンの中で、世界から選ばれ続ける総合物流港を目指す
- ▶国・阪神国際港湾(株)と連携し「集貨」「創貨」「競争力強化」の取組みを引き続き強力に推進

主な取組み状況

集貨

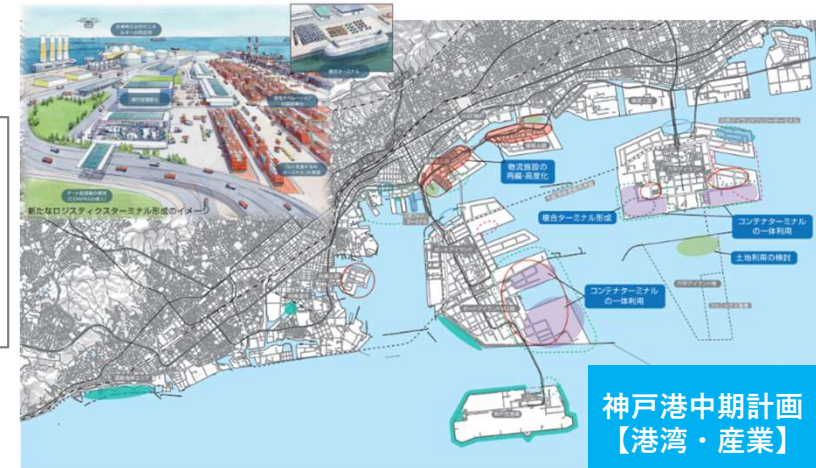
- 国際フィーダーによる瀬戸内・九州・日本海側からの集貨促進など阪神国際港湾(株)との連携事業のほか、神戸市単独事業(日中航路誘致など)による支援
- 2024年問題への対応や環境負荷低減のため、フェリーや国際フィーダーを活用したモーダルシフト促進支援(神戸市単独事業)
- 国内外での荷主企業等へのポートセールスや世界港湾会議(IAPH主催:R7.10)の誘致による海外への情報発信

創貨

- 多様な海上輸送モードの充実、背後地の高付加価値化を目指す複合ターミナルの形成に向けた検討
- 港湾関連施設用地不足への対応や物流施設の高度化に向け、倉庫・上屋集積エリアの再編促進(新たな事業用地確保の検討や規制緩和)

競争力強化

- 国、阪神国際港湾(株)と連携した大規模高規格コンテナターミナル(KICT)事業
- ゲート前混雑の解消やターミナル滞在時間短縮に向けたCONPAS導入への支援(PC18:R6.9運用開始済 KICT:R7d予定)
- CNP形成に向けた取組として、船舶用陸電供給施設の導入、港湾施設LED化等



港湾の脱炭素化（カーボンニュートラルポートの形成）

現在の取組状況

- 脱炭素推進計画策定(R7.3予定)
- 船舶用陸電供給、港湾施設のLED化
- 倉庫等への太陽光パネルの設置
- 荷役機械の水素化実証 ※国・HPC連携
- 神戸市港務艇の水素燃料化
(R6~7d建造、R8d中の運用開始を予定)
- コンテナターミナルの渋滞対策(CONPAS)
※国・HPC連携
- 脱炭素先行地域の指定(神戸市)

今後の取組

- 再生可能エネルギーの導入拡大検討
(例:次世代型太陽電池など)



新港務艇のイメージ



陸電供給



RTGの水素燃料化実証